

令和4年度事務事業評価(対象:令和3年度実施事業)集計表

R3年度の事後評価	① 必要性	①必要性の評価		
		件数	割合(%)	
		A:非常に高い	268	73%
		B:高い	90	24%
		C:ある程度認められる	10	3%
	計	368	100%	
	② 達成度	②目標達成度の評価		
		件数	割合(%)	
		A:達成した(100%)	114	31%
		B:概ね達成した(80%以上)	212	58%
		C:達成できなかった(80%未満)	42	11%
	計	368	100%	
	③ 実施内容	③実施内容・方法の評価		
		件数	割合(%)	
		ア:余地が大きい	10	3%
		イ:ある程度余地がある	311	85%
		ウ:余地がない	47	13%
	計	368	100%	
	部i に偏っているか	④公平性の評価		
		件数	割合(%)	
偏りがある		55	15%	
やや偏りがある		94	26%	
偏りがない		99	27%	
非該当	120	33%		
計	368	100%		
のii 見直しの余地	④公平性の評価			
	件数	割合(%)		
	余地がある	73	20%	
	余地がない	35	10%	
	受益者負担がない	86	23%	
非該当	54	15%		
計	368	100%		

※④公平性「ii 受益者負担の見直しの余地」の率は、④公平性「i 受益者が一部に偏っているか」の「ア:偏りがある+イ:やや偏りがある+ウ:偏りがない」の合計を分母としている。

※割合は小数点以下を四捨五入しているため、各項目を足し合わせても100%にならない場合がある。

計画期間を通じての評価	課題	④公平性の評価		
		件数	割合(%)	
		—:課題はほとんどない	43	12%
		○:ある程度課題がある	285	77%
		●:大きな課題がある	40	11%
計	368	100%		
総合評価	総合評価	総合評価		
		件数	割合(%)	
		☆☆☆:順調	125	34%
		☆☆:概ね順調	219	60%
		☆:遅れ	22	6%
		対象外	2	1%
計	368	100%		

今後の方向性	方向性	件数		割合(%)			
		現状のまま継続	256	70%			
		休止・廃止	0	0%			
		終了・完了	3	1%			
		見直して継続	97	26%			
		他事業と統合して継続	12	3%			
		見直し方針	重点化(拡充)	63	58%		
			手段を改善	37	34%		
			効率・簡素化	8	7%		
			その他	6	6%		
		計	368	100%			
		経営資源	事業費	増加	109	30%	
				現状維持	250	68%	
				削減	9	2%	
				計	368	100%	
			労働量	増加	111	30%	
				現状維持	254	69%	
削減	3			1%			
計	368			100%			

※方向性を見直し方針の率は、「現状のまま継続」の一部+「見直して継続」+「他事業と統合して継続」の件数を分母としている。

※割合は小数点以下を四捨五入しているため、各項目を足し合わせても100%にならない場合がある。